

033

## 「災害対応パーソナル BOOK」を活用した、みんなで助かる防災

取組主体

株式会社土屋

従業員数

2,521人

想定災害

全般

実施地域

全国

・障害者や高齢者を災害から守ろうと、オリジナル防災準備冊子「災害対応パーソナル BOOK」を作成・活用。災害に向けて何を準備し、どのように行動すべきかを検討し、利用者ごとの避難計画を作成している。

### 1 取組の概要

#### 「災害対応パーソナル BOOK」の設計

- ・重度訪問介護サービスを全国展開する株式会社土屋は、要介護者ひとりひとりの環境や心身の状態に応じた個別計画書「災害対応パーソナル BOOK」を作成している。同冊子には、ハザードマップや避難経路、連絡体制などの避難フローや、要介護者の普段の様子、注意してケアが必要な事柄などが記入してある。
- ・「災害対応パーソナル BOOK」の作成等、要介護者の災害対応準備を行うことは、要介護者本人だけでなく、家族、福祉支援者、地域住民などの命を守る事につながる。
- ・災害時でも、要介護者が安全であることが、企業が持続的に本事業を進める上で重要な点となっている。



椅子型搬送訓練

### 2 取組の特徴（取組の狙い、工夫した点、差別化した点等）

#### 自分の命を“諦め”ている要介護者のケア

- ・現場の声として、要介護者ご本人は自身の命への執着が低い傾向があり、この意識変化を行政だけに任せる事は容易ではなく、普段から寄添う立場であり、要介護者とのつながりがある介護者が、その役割を担うことが適任だと考え、介護従事者視点で本取組を行っている。
- ・当事者の「災害が来たら自分の命はあきらめる」という考えを変え、自助や備災の考え方をもってもらうために、「災害対応パーソナル BOOK」を活用して、根気強く取り組んでいる。



水害対策訓練の様子

#### 要介護者だけでなく、周囲を巻き込んだ避難計画

- ・個別避難計画「災害対応パーソナル BOOK」は、要介護者に関わる複数の福祉関係者・医療者・行政・ご家族・地域住民などとの連携で準備を進めることを基本とし、地域とのつながりをより強くし、普段支援している人たちの手が足りない場合には近隣の方々の手を借りる、地域の力を借りる、という事を強く勧めている。そこからつながりができ、地域の防災訓練にも参加できるようになったケースもある。
- ・災害対応訓練の様子は、動画や画像で残し、障害当事者にかかわる人たちに災害時の対応をわかりやすく説明できるようにしている。

#### 重度障害のある方向けだからその対策内容

- ・重度障害のある方には、医療機器の電源が非常に重要である。そのため、電源確保については、各人、各家族に積極的に準備いただくよう推奨するとともに、事業所でも予備電源や蓄電池を多く備えている。

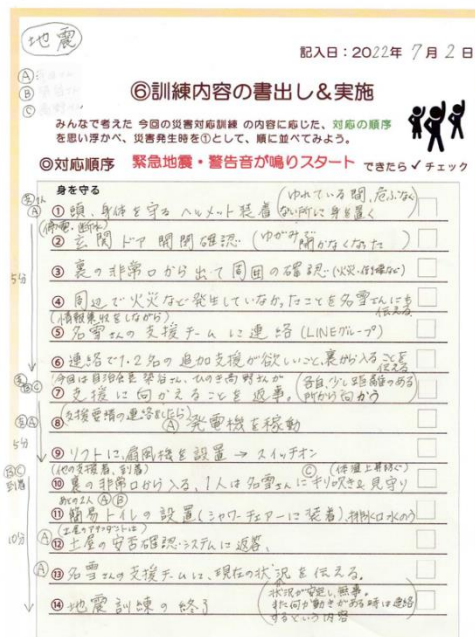
### 3 取組の効果

- ・2020年のコロナ禍で始まった本事業は、2022年、2023年と少しずつ災害対応訓練が実施されている。実際に直接的な災害による被害を受けた要介護者はおらず、引き続き有事に備え、「災害対応パーソナル BOOK」は継続していく。

4 取組への想い

重度障害者の利用者と社員を守る

- ・現場での緊急時の対応準備を進めなければ、大切な社員と要介護者を守れないという思いからこの取組は始まった。
- ・障害や高齢などの要介護者、特に人工呼吸器などの医療機器を付けた要介護者と過ごす中、巨大地震や水害、その他の緊急事態が発生したら自分はどのような対応をすれば良いのか。介護者は、一人の命を目の前にして、緊急時に不安と恐怖にただ慄いたり諦めたりするのはなく、しっかり準備を整え、周りとも意識を共有して欲しい。また、何よりも要介護者本人にそのような場合に対する危機意識を持って貰いたい。介護者である自分たちにも大切な家族がいて、要介護者の命も守りながら、自分たちの命を守る事を最優先に考えて欲しい。そのような思いから、本事業は始まった。



「災害パーソナル BOOK」の内容

5 防災・減災以外の効果

要介護者と地域社会をつなぐ

- ・要介護者の中には、そもそも自治体や地域とのつながりを作っていない方も多い。訓練に向けた準備の中で自治会長や地域の民生委員とつながるきっかけができ、関係性が構築されることもあった。

6 現状の課題・今後の展開等

行政や他事業者と協業して本事業を拡大していく

- ・現在、介護支援に手が足りていないこともあり、全ての現場で「災害対応パーソナル BOOK」の「作成→訓練→課題抽出→再度トライ」を出来ている訳ではない。要介護者の為にも、そして、自分を大事にして欲しい介護者の為にも、企業としての事業継続の為にも、この取組を自社だけでなく、行政や他事業者にも理解していただき、一緒に進めていきたい。

7 周囲の声

- ・「今までは大きな災害が起きたら死ぬしかないと思っていたが、生き延びられる気がして来た。災害準備をもっと頑張りたい！」 (障害当事者)
- ・「災害に対して何となく意識はしていたが、実際に訓練に向けて行動することで、更に意識があがり、地域との新しいつながりもできとても良かった。」 (障害当事者)

担当者の声

・こちらの「災害対応パーソナル BOOK」は、自分と大切な人の命を守る為、もしもの時のその人の為だけの「取扱説明書」のような役割を果たしてくれる冊子です。障害があってもなくても、大人であっても子どもであっても使えます。緊急時に焦らず対処できるように、まずはお手に取って書き込みをはじめてみませんか。

問合せ先

株式会社土屋 法人番号：3260001034654  
 電話番号：050-3733-3443 FAX：050-3457-9334  
 E-Mail：info@care-tsuchiya.com URL：https://tcy.co.jp/

動画



サイト URL

